

第 44 回 経営協議会議事録

日 時 平成 23 年 10 月 20 日 (木) 10:00～11:20
場 所 本部棟大会議室
出席者 長澤学長，金山理事・副学長，吉田理事・副学長，棚橋理事，
三竹副学長・事務局長，前田副学長，斎藤委員，鈴木委員，米沢委員，
和田委員，渡辺委員
欠席者 大社委員
陪席者 西村監事，竹川監事

議事に先立ち，議長から，6 月 16 日開催の第 42 回経営協議会議事録，持ち回り開催した第 43 回経営協議会議事録については，案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ，特に修正すべき箇所がないことから，原案どおり確定したい旨諮られ，承認した。

議長から，今回から経営協議会委員として出席する和田 修一(わだ しゅういち)委員の紹介があり，和田委員から挨拶があった。

報告事項

1) 平成 22 事業年度財務分析について

事務局長から，平成 22 事業年度財務諸表については，10 月 14 日付けで文部科学大臣より承認された旨報告があり，平成 22 事業年度の特徴的な点について説明があった。

続いて財務課長から資料 1 に基づき，平成 22 事業年度財務分析の詳細について報告があり，竹川監事から補足説明があった。

2) 公的研究費等の不適切な会計処理について

企画総務部長から，資料 2 に基づき，8 月 5 日に公表した公的研究費等の不適切な会計処理における調査結果の概要，調査報告書の内容，今後の再発防止策の実施状況等について説明があった。

構成員より，以下の意見があった。

- ・ 理工系の分野は，研究試料や人件費の継続的な必要性など予算措置が遅れると研究目的の達成が難しい面がある。研究活動の円滑化のためにも，研究費の早期配分や繰り越し等の制度的な見直しについて国立大学協会等がとりまとめて要請することはできないか。

- ・ 科研費をはじめとする競争的資金等で、繰り越し制度の活用実績はどの程度か次回の会議で報告していただきたい。
- ・ 制度的見直しについて要望するのも良いが、まずは繰り越し制度があるので、こちらを利用してはいかがか。また、研究者に対しては、繰り越し制度の研修会等を開催し、制度の周知を図っていただきたい。
- ・ 研究者には研究費申請の手続き方法については非常にいろいろな情報が提供されるが、使い方についてはあまり情報が提供されないので、定期的に伝えてあげた方がよい。

議長から、大学で独自にできるものは、きちんとしたルールに則って運用しやすいように改善していきたいと考えているので、今後のご意見をいただきたい旨発言があった。

3) 人事院勧告等について

事務局長から、資料3に基づき、人事院勧告等の内容について報告があり、本学の対応方針については、今後の臨時特例法案の動向を踏まえ、国の方針が決まった段階で改めて審議いただきたい旨発言があった。

4) 教員の選考について

吉田理事から、資料4に基づき、7月21日開催の第113回教育研究評議会で承認された、採用4件、昇任2件の教員の選考結果について報告があった。

議長から、第45回経営協議会は、平成24年1月19日(木)10時から、本部棟大会議室において開催する予定である旨発言があった。

以 上